

○「地区連きっかけに話合う地区増える」

(京都府宮津市 上宮津地区連絡会議)(平成31年度第1回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年5月31日(金) 17:00~20:00
- 場 所: 宮津市上宮津集会所
- 出 席 者: 関野委員、細見推進委員
協力員12人 若手農家3人 市2人
※委員2人、委員以外17人
- 報 告 者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 山田(7区)、喜多(5区)、今福(2区)で構成される地域
- 大江山から市街地にかけての宮津市の中でも大きな面積と耕地に恵まれている 農家数106戸
- 水稻が中心で、ブドウ・採種・コギクなどの栽培が行われている 耕地60.14ha

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- オリーブ栽培の取り組みの説明(市)と質疑
 - ・経営データを提供してほしい
 - ・栽培に関する年間の経費は
 - ・祝祭適地不適地は
- 地域の活動状況を各々説明
 - ・地元集落での取り組み内容説明と、今後隣接地域と連携した取り組みの希望(推進委員)
 - ・今福地区;大型機械導入、担い手問題、広域化の取り組みの必要性について報告(協力員)
 - ・金山地区は、京力農場プランの検討を行ってきたこと、プラン推進の委員選出等について報告(協力員)



4 活動結果

- 情報・意見交換 3 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援